

AJSKA 体験会インストラクターマニュアル

※ この体験会マニュアルは体験会においての事故防止とスムーズな進行を目的とし全国的な標準実施要綱とする

1. インストラクター心得

- ・体験会インストラクターはAJSKA公認のインストラクター若しくは主催者が認める公認インストラクターと同レベルのスキルを持つ者が望ましい
- ・体験会インストラクターはフィールドの現状を常に把握する事、また危険予知・危険回避が出来る者に限られる
- ・体験会インストラクターはKITE界の代表者である事を常に意識し、体験者に対し礼儀・言葉遣いに充分注意して指導にあたる事

2. 体験フィールド

- ・体験フィールドは、十分な広さと障害物が無い場所が望ましい
- ・体験フィールド内への一般ギャラリーの立入りをコーションテープ等で規制する事が望ましい
- ・一般ギャラリーの立入り規制が困難な場合はフィールド内に安全監視員を数名配置し注意喚起を促すことが望ましい
- ・複数で実施する場合は横方向のスパンを充分に取り体験者に不安を持たせないように実施する事

3. 体験フライト時間の設定

- ・体験会における1人の体験時間は5分程度が望ましい(他体験者の待ち時間を軽減する事とスクールではなく体験会の趣旨を尊重する為)
- ・インストラクターとタイムキーパーが1組となり実施する事が望ましい
(タイムキーパーは体験待ちの人に対して事前にフライト姿勢・注意事項等を説明する事が望ましい)

4. 体験対象年齢等

- ・体験者は性別年齢を問わないが小学生以下の児童については保護者の同意を求める事が望ましい
(KITEはスポーツである事を事前に説明し理解して頂く事が望ましい、またインストラクターの判断により遠慮願う事も大事である)

5. インストラクター

- ・インストラクターは体験者の背後から指導するが如何なる場合にも対処出来得る姿勢で指導する事
- ・インストラクターは体験者に対してストラップ(ライン)を任せきりにする事を原則禁止する
(体験者により経験のある者、覚えの早い者もいる為インストラクターの判断でストラップ(ライン)を任せる事も可)
- ・体験会でKITEを墜落させる事は非常に危険であり、体験用のKITEのり損傷も伴うのでインストラクターは墜落を避ける様に指導する事
- ・フライトについては上下50%以上でフライトさせる事が望ましい

6. 体験フライト

- ・体験者に対してストラップの持ち方・姿勢・KITEのフライトエリア(上下左右)の説明を実施する
- ・50%以上で右左方向への操作説明を実施する
- ・AJSKA個人規定01a Infinity Downwards(横8の字)の操作説明を実施する